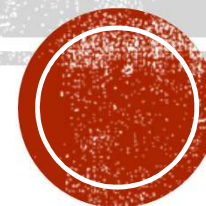


救急外来での外固定

整形外科 坂口彰



専門医による対応が必要な骨折

- 開放骨折
- 神経障害(知覚、運動障害)を伴う骨折
- 循環障害(腫脹、蒼白化、末梢の動脈拍動減弱)を伴う骨折
- 骨片転位の激しい骨折

上記の骨折は迷わず整形外科コンサルト!



「骨折がない」と断定しない

- 救急外来では明らかな骨折がない場合でも、異なる角度や後日撮影した時に骨折が判明することもある。
- 「救急外来では骨折はないと言われたのにどうということ??」 とならないためにも...
- 心配な場合は近々の平日当院整形外科の受診をお願いします。

骨折が疑わしい時は整形外科フォローを検討!



シーネ固定の利点

- ギプス

- 強固に固定できる

- 過剰な圧迫による神経障害、循環障害、関節拘縮などのリスク

- シーネ

- 簡易的に固定できる

- 過剰な圧迫をきたしにくい

患部の腫脹が起こりうる受傷早期(救急外来)ではシーネ固定が適している!



シーネの選択

- 上腕、前腕→3号
- 足関節→4号
- 大腿、膝関節→4 or 5号
- 手指、足趾→アルフェンスシーネ



この面が外側！



※アルフェンスシーネは角を切って丸くしておくこと！



固定の基本

- 受傷部位を中心に近位・遠位の2関節を含めて固定。
- 適度な圧迫を加える。
- 弾性包帯は遠位から近位にむけて巻く。



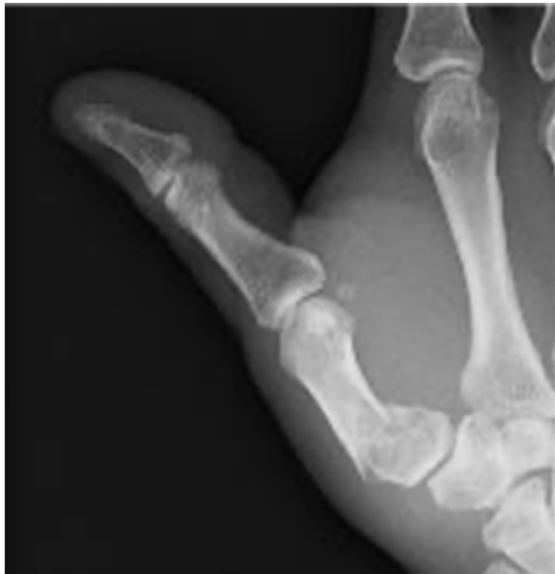
症例



示指中節骨骨折 アルフェンスシーネ



第1中手骨骨折 橈側ガタースプリント



第5中手骨骨折 BOXER SPLINT



橈骨遠位端骨折 SUGAR TONGS

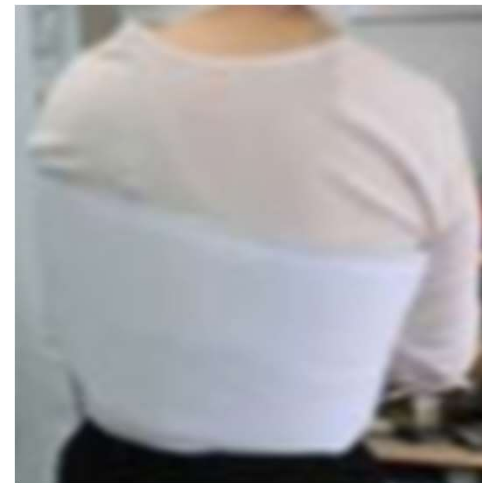


肘頭骨折

ELBOW SPLINT



上腕骨近位端骨折 三角巾＋バストバンド

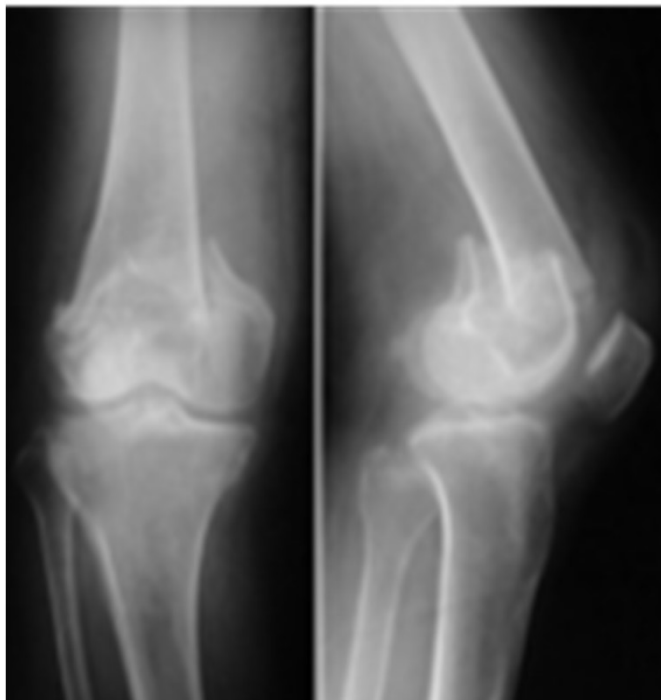


鎖骨骨折

CLAVICLE BAND



大腿骨遠位部骨折 下肢シーネ



膝蓋骨骨折

大腿～下腿までの背側シーネ, KNEE BRACE



足関節果部骨折 下腿シーネ



第1趾末節骨骨折 アルフェンスシーネ



TAKE HOME MESSAGE

- 開放骨折、神経障害・循環障害を伴う骨折、骨片転位の激しい骨折
→整形外科コンサルト
- 骨折を指摘できないケースでも(迷ったら)固定してよい!
- 2関節固定が基本

